独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和 8 年度第 1 回入札監視委員会議事概要

１　開 催 日
令和 8 年 7 月 22 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分

２　開催場所
外苑事務所大会議室 1

３　出席委員（敬称略）
委員長 宮　　直仁（公認会計士）
委 員　大村 恵実（弁護士）
委 員　川瀬 貴晴（国立大学法人千葉大学名誉教授）

４　オブザーバー
児玉 進矢（監事）
大橋 玲子（監事）

５　議　　題
（１）令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間に発注した建設工事の入札及び契約の手続の運用状況等について（報告）
（２）令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間に発注した設計・コンサルティング業務の入札及び契約の手続の運用状況等について（報告）
（３）令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間の指名停止等の措置状況について（報告）
（４）抽出した建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する審議
（５）その他

６ 議事概要
（１）令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間に発注した建設工事の入札及び契約の手続の運用状況等について（報告）
事務局から報告を行い、委員からの意見・質問は特になかった。

（２）令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間に発注した設計・コンサルティング業務の入札及び契約の手続の運用状況等について（報告）
事務局から報告を行い、委員からの意見・質問は特になかった。

（３）令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間の指名停止等の措置状況について（報告）
事務局から報告を行い、委員からの意見・質問は特になかった。

（４）抽出した建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する審議

令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月までの間に発注した案件のうち、委員により事前に抽出された以下の 7 件の審議を行った。

建設工事	2 件	件名
一般競争入札 （政府調達に関する協定適用対象工事）	－	
一般競争入札 （上記を除く。）	1 件	・ＨＰＳＣ・ＮＴＣ－Ｅ　ｅスポーツラボ整備建築工事
工事希望型競争入札	－	
通常指名競争入札	－	
随意契約	1 件	・国立競技場 観戦ボックス（1～13）照明器具交換工事
設計・コンサルティング業務	5 件	
公募型プロポーザル	－	
簡易公募型プロポーザル	－	
簡易公募型プロポーザル（拡大）	1 件	・ＨＰＳＣ・アスリートヴィレッジ 宿泊機能改善等基本設計業務（建築）
標準型プロポーザル	－	
一般競争入札	3 件	・ＨＰＳＣ・アスリートヴィレッジ 宿泊機能改善等基本設計業務（設備） ・国立代々木競技場 付属棟屋上プロムナード等防水その他改修実施設計業務 ・令和７年度 建設資材実勢価格調査業務
随意契約	1 件	・国立登山研修所 冬山前進基地新営工事に伴う国有林調査、測量、申請書作成業務
抽出案件（合計）	7 件	

審議の結果、いずれの案件も了承された。

なお、委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次の通りである。

① 日本スポーツ振興センター ＨＰＳＣ・ＮＴＣ－Ｅ　ｅスポーツラボ整備建築工事

（質問）競争参加資格で実績要件をｅスポーツに限定しているのはなぜか。

（回答）本施設はｅスポーツラボであることから、トップアスリートがｅスポーツをするだけでなくスポーツ医・科学の観点から研究することも視野に入れ、ウェルビーイング及びｅスポーツ特有の視認性や没入感に配慮した空間づくりをする必要があったため、競争参加資格としてｅスポーツに特化した実績要件を求めた。

（質問）グラフィックデザイン工事は既存の天井や壁を利用したものか。設計は終わっているのか。

（回答）無窓の居室であった場所を、一部既存の天井を外して改装した箇所と、既存の壁を活かして塗装をした箇所がある。事前に設計をした上で工事を行った。

（質問）本施設の利用者は研究者やアスリートか。

（回答）利用者は、e スポーツのトッププレーヤー及びその研究・支援にあたる研究者等であり、一般利用はない。

（質問）2 回の入札を実施した後、決まらなければ不落随契とするルールなのか。

（回答）入札説明書において入札は原則 2 回としているが、3 回目以降の入札を実施することはある。

（質問）2 回目の入札以降、業者と打合せを行ったのか。

（回答）2 回目の入札後、不落随契の協議を業者と行い、仕様の認識を合わせたところ、予定価格に収まった。

② 日本スポーツ振興センター 国立競技場 観戦ボックス（1～13）照明器具交換工事

（質問）競技場完成時の検査において照度不足について問題がなかったのか。

（回答）国立競技場建設完成時に興行法営業許可申請に係る保健所の検査を受けて許可が取得されていることから、基準適合と判断されていたと考えられる。

（質問）本件は、予測不可能だったのか。

（回答）予測不可能だった。

（質問）本件は竣工遅延を避けるために施工業者に追加工事を依頼したとの理解でよいか。

（回答）そのとおりである。

③ 日本スポーツ振興センター ＨＰＳＣ・アスリートヴィレッジ 宿泊機能改善等基本設計業務（建築）

（質問）当初、基本設計業務の「建築」と「設備」を 1 本の業務として調達手続きを進めて不調となり、業務を二つに分けることにより応札者が増えたのはなぜか。

（回答）建築設計業者では設備設計業者からの協力が得られず設備の担当者が充足できないという問題があったため、それぞれの業務を分けることになった。

（質問）参加資格の実績要件の面積を延べ床面積 3,000 ㎡以上としたのはなぜか。

（回答）建設コンサルタント選定委員会で、応札業者がより多く参加できるよう実績面積を緩和することとなり、延べ床面積 3,000 ㎡以上とした。

（質問）見積結果をみると、2 回目の見積金額は予定価格と乖離があったにもかかわらず、3 回目の見積価格が予定価格に近くなったのはなぜか。また、3 回目の見積りの際に人件費における時間や単価の数値は変わっていないか。

（回答）2 回目の見積提出後、見積価格が予定価格から大きく乖離していたことから、公表されている官庁施設の設計業務等積算基準を用いて予定価格を算出している点を口頭で説明した。また、見積の内訳は把握していないため、人件費の時間や単価が変わったかは確認していない。

④ 日本スポーツ振興センター ＨＰＳＣ・アスリートヴィレッジ 宿泊機能改善等基本設計業務（設備）

（質問）「建築」と「設備」に業務を分けて発注したことにより、当初の予定価格よりはコストカットされたのか。

（回答）「建築」と「設備」に業務を分ける前の時点では予定価格が作成されていない状況であった

ため、予定価格との比較はできないが、一般的には分離発注したことにより両業務を総括する管理費等が削減されると想定されるため、コストカットになったのではないかと思う。

⑤　日本スポーツ振興センター 国立代々木競技場 付属棟屋上プロムナード等防水その他改修実施設計業務

（質問）評価項目及び採点における業務成績が 0 点となっているのはなぜか。

（回答）令和 2 年度以降における文部科学省及びその所管法人の「建築設計」、「設備設計」及び「建築・設備設計」業務に携わった実績がなかったためである。

（質問）予定価格に対し契約金額が 6 割程度となっているのはなぜか。

（回答）実施可能な人工を入札者が積み上げたもので、いわゆる結果としての企業努力があったと考えられる。

⑥　令和７年度 建設資材実勢価格調査業務

（質問）毎月の建築資材の価格は市販資料で確認できるのではないか。

（回答）市販資料には載っていない建築資材のデータが必要だったため、建築資材の実勢価格を調査した。

（質問）調査は定期的に行うのか。落札率が高いが、調査価格の相場が決まっているのか。

（回答）スライド請求が行われればその都度調査を実施することになる。調査にあたって複数社からヒアリングを行い調査に必要となる労務費を設定している。

（質問）追加的な作業はあるか。

（回答）JSC の業務仕様書に従って調査し、仕様書に基づいて書面及び CD-R で成果物を提出してもらっている。特に追加的な作業はない。

⑦　日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 冬山前進基地新営工事に伴う国有林調査、測量、申請書作成業務

（質問）本業務を実施できる指定業者のうち実施不可と回答した者の記録はどのようにとっているのか。

（回答）指定業者に対しては事業内容をメールで説明しており、実施不可についてもメールで回答いただいた。

（５）その他

（質問）「国立競技場 観戦ボックス（1～13）照明器具交換工事」については、新宿区保健所から照度不足に係る是正を求められた経緯を確認いただきたい。

（回答）承知した。

7 委員会による意見の具申又は勧告

意見の具申又は勧告はなし